



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2024-25年度 RI会長:ステファニー A. アーチック/地区ガバナー:八坂 誠徳
加古川ロータリークラブ会長:大庫 隆夫 / 幹事:山本 亜也夫
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和 6 年8月27日(火) 晴 No. 8



▲会長挨拶



▲安井会員増強委員長フォーラム

会長の時間

会長 大庫 隆夫

第八回 明治三十年の五銭、昭和三年の五十銭、昭和三十二年の百円玉

これらは何かと言うと私共の祖父源次郎、父典雄、そして私自身の生まれ年なのです。硬貨には発行年銘が打刻されていますので、何がしかの記念の為に置き置いてコレクションに出来るのです。祖父源次郎の生年明治三十年は日清戦争の二年後、清国から賠償金二億兩余の銀を得て、それをロンドン、ベルリンで金貨に換え、我が国は念願の金本位制を導入した年であります。

父典雄の生年昭和三年に中華民国奉天市近郊で張作霖爆殺事件が起き、関東軍は満洲進出を強行しました。これ全て日本陸軍関東軍の謀略とされています。

私の生年昭和三十二年、主婦の店ダイエー一号店が開店、「喜びも悲しみも幾歳月」が大ヒットしました。

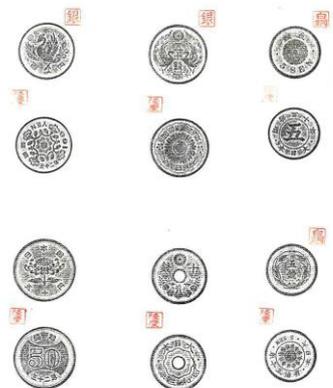
祖父は日清戦争直後に生まれ、日露戦争、第一次大戦を経て第二次世界大戦へと軍隊と戦争が身近に在った時代を生きました。祖父の弟は満州へ曹長刀を提げて出征、戦死して准尉となりました。

父は関東軍が満州に深く関わり始めた年に生を得て、泥沼の日中戦争期に幼少年期を過ごし、第二次世界大戦期には勤労働員をも経験しました。

日本は昭和二十年まで実に戦争と共にあったのです。大庫鉄工所は加印地区の軍需工場の束ね役を務め川崎航空機に航空機エンジン整備架台などを納めていました。祖父は昭和二十年の明石大空襲に遭遇して這這の体(ほうほうのてい)で徒歩にて加古川まで帰ってきたと何度も聞かされました。

父の生年の五十銭銀貨、私の生年の百円銀貨はどちらも鳳凰を描いた見事な銀貨です。比べて気づくのは菊の御紋章の有無でしょう。戦後、GHQから貨幣への菊の御紋章使用禁止を指示されて以降、菊の御紋章は貨幣から消えたのです。我々は今現代の平和日本に感謝せねばなりません。

皆さんも自分自身、子や孫さんの生まれ年コインを揃えてみては如何でしょう。



幹事報告

1) 川西ロータリークラブより60周年記念誌が届いていますので回覧いたします。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 安井委員長さん、会員増強頑張ろ～!!
- 省 略 ☺ 安井会員、本日の会員増強フォーラムよろしくお願ひします。
- 省 略 ☺ 安井委員長、本日の卓話楽しみにしてます。
- 省 略 ☺ 安井会員、本日のフォーラム宜しくお願ひ致します。
- 省 略 ☺ 安井会員、本日のフォーラムよろしくお願ひいたします。
- 省 略 ☺ 安井会員、卓話楽しみです。たくさん、しかけあるみたいですね。
- 省 略 ☺ 本日、皆様の貴重なお時間をいただき、フォーラムさせていただきます。よろしくお願ひ致します。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

ニコニコ パートII リクエスト&アンサー

- R↓ 省 略 ☺ 台風10号がココへ来る確率は何%ですか?
- A↑ 省 略 ☺ 昨日調べたんですが、暴風圏に入る確率は33%だそうです。最新データでは40%でした。

以上10件 ¥12,000-
本年度累計¥426,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 75 名 出席 45 名 出席免除 13 名 欠席 17 名
- ☆ 欠 席 者 省 略
- ☆ 前 々 週 会員数 75 名 出席 57 名 出席免除 12 名 欠席 6 名

親睦活動委員会

例会場当番

9月 3日(火) 中村・釜谷

9月 10日(火) 岡田・金田

プログラム委員会

本日8月27日(火)	9月3日(火)	9月10日(火)	9月17日(火)
フォーラム 安井会員増強 委員長 担当	卓 話 「水処理薬品に ついて」 下山担当	フォーラム 雑誌委員会担当	例会変更(時間・場所変更) 尚齒例会 午後7時~8時30分 於; Bar 1986 KAKOGAWA 親睦活動委員会担当

9月のおよろこび

◆ 誕生日祝	省略
◆ 結婚記念日祝	省略
◆ 出席表彰	省略
◆ 会社創立記念日	省略

「分断された世界を癒す」をテーマにアーチック RI 会長が特別イベントを主催

文: Etelka Lehoczky



紛争、不平等、避難によって多くのコミュニティが危機に瀕している時代にあつて、平和へのコミットメントを維持することは困難に感じられることもあります。それでも、来年 2 月に会長主催平和会議を開催するステファニー・アーチック国際ロータリー (RI) 会長とほかのロータリー会員の決意が弱まることはありません。

「ロータリーは、世界理解、親善、平和推進という原則の下に設立された団体です。平和を推進することは、私たちの責任なのです」。こう話すアーチック氏は、平和推進という主題を会長年度の焦点としています。「この会議が、平和構築におけるロータリーの役割にスポットライトを当てる機会となることを期待しています」

「分断された世界を癒す」をテーマとするこのイベントは、2 月 20 日～22 日にイスタンブール(トルコ)の Hilton Istanbul Bomonti Hotel & Conference Center で開催されます。平和推進におけるロータリーのこれまでの貢献を土台に、地域社会の分断を和らげる方法、平和と開発におけるテクノロジーの役割、平和と環境問題の関連性、持続可能な平和を築く機会について考察します。

この会議の企画委員長であるサファク・アルパイ氏(イスタンブール・シスリ・ロータリークラブ会員、元 RI 理事)は、次のように述べます。「分断された世界を癒すことを目的とする会議は、大きな可能性を秘めています。ワークショップ、パネル討論、成功事例の共有、参加型セッションを通じて、このテーマを叶えられることを願っています。参加者が情報や知識を交換することで、平和構築の方法を地元で実践するためのインスピレーションや洞察を得ることができるでしょう」

また、世界に七つあるロータリー平和センターの一つとしてバーチェシエヒル大学に新設されたオットー&フラン・ウォルター・ロータリー平和センターが紹介されます。2024年2月に開設されたこのセンターでは、この平和会議が開かれる2025年初旬に第一期生が学業を開始します。

平和推進におけるロータリーのコミットメントについて

ホスト組織委員長であるムラト・チェリク氏（イスタンブール・シスリ・ロータリークラブ会員）は、次のように話します。「バーチェシエヒル大学のロータリー平和フェローの第一期生たちも、この平和会議に出席してロータリーの平和構築プログラムについて学び、自分たちの経験を分かちあいます」

会議の参加者は、現在の問題や、よりインクルーシブで回復力のあるコミュニティを生み出す方法を話し合います。「平和構築と紛争予防」はロータリーの重点分野の一つであり、誰もがこの対話に貴重な洞察をもたらすことができます。

「パートナー団体、財団管理委員会、RI理事会、1,800人いる平和センター卒業生の一部、平和のロータリー行動グループのメンバー、平和の推進に関心のあるそのほかの方々など、平和構築に力を注ぐ幅広い方々が参加すると期待しています」とアーチック会長。また、新しいセンターの第一期生たちと会うことを楽しみにしています。

「デューク大学のロータリー平和センター年次セミナーに出席したときには、フェローの研究成果について聞くことができました。学んだことを地域社会や地元団体に持ち帰り、平和を築いていこうとする姿にとても感動しました」

平和構築に関する多くの主題の議論に加え、ホスト組織委員会が主催する地元イベントに参加できる機会もあります。この会議では平和の定義について考えることになるだろう、とチェリク氏は言います。

「扱われる主題は、平和について新たな視点をもたらし、新たな課題に光を当てるものとなるでしょう。私がいつも使っている、一番好きな平和の定義は『平和とは、敵意や暴力、戦争がないことだけでなく、質の高い生活が送れることである』というものです」

平和会議ではまた、共感と批判的思考に基づく紛争解決のアプローチを促進します。こうしたスキルを身につけることで、暴力に頼らずに争いの解決方法を見つけることができる、とアルパイ氏は述べます。

平和構築者の仕事のもう一つの重要な要素は「希望」である、アルパイ氏。「希望こそが、行動を促し、変化を生み出す力であると信じています」